

## 「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第22回研修を開催しました！」

第22回の研修は、令和4年12月3日(土)に、盛岡市勤労福祉会館で行いました。

今回の講義は、特別講義で、公益財団法人岩手生物工学研究センターの所長でもある当チャレンジファームの高畑施設長から「品種と育種の基礎」、そして岩手県農林水産部農業普及技術課の竹澤総括課長から、「岩手県農業の魅力と受講生の皆さんに期待すること」と題して講義をしていただきました。

「品種と育種の基礎」では、生物の分類体系や種の学名表記の決まり、品種は変種のレベルであることなどを学びました。

育種の取組では、岩手大でのりんご「はるか」の育成や遺伝子レベルで品種改良した「金色の風」などを解説していただきました。

受講生からは、農業をするにあたって、学名を知ることが重要であり、連作障害が出る理由がよく理解できたなどの感想がありました。

「岩手県農業の魅力と受講生の皆さんに期待すること」では、農業を取り巻く情勢には、市場規模や食生活の変化に加え、気象変動やコロナ禍が影響してきているとのことでした。

また、岩手県の魅力として、農業産出額で全国上位の品目が多く、雇用就農が増加傾向にあること、今後の施策展開では、2028年が目標の「いわて県民計画」に即した取組や、県内の輝く農業経営者を紹介していただきました。

講義後には、受講生の質問に丁寧に答えていただいた上に、「農業を通じて、地域貢献につなげてほしい。」という期待の言葉に、受講生からは、最新の情報を知ることができてよかった、就農する前にしっかり考えたい、将来に明るい希望が持てたなどの感想がありました。

第23回の研修は、12月16日(土)、17日(土)に、同会場で、農業簿記、経営安定対策等の講義と研修の振り返りを行う予定です。



高畑施設長による特別講義の様子



竹澤総括課長による特別講義の様子



高畑施設長と受講生の質疑応答の様子



竹澤総括課長からの熱いメッセージ